

発熱感染外来について

当院では令和2年8月12日より、発熱感染外来を行ってまいりました。

また、軽症である、37.5度未満の方、咳のみ、咽頭痛のみ、などの方は通常診療として、平素の外来で受け入れてまいりました。

しかしながら、令和3年8月頃から、熱の無い方が受診して、咽頭痛等、風邪症状としての処方をして帰宅後、2~3日経って発熱を訴えて再来院し、新型コロナウイルスが陽性となるような方が増えてきております。

当院が発熱感染外来を開始した頃とは異なる、新型コロナウイルスのデルタ株等を含めた新規株に置換されてきており、開始時点と同様のルールのままでは、通常診療に来院される一般患者さんにとって感染リスクが高まる不利益を来すようになりました。

そのため、たとえ37.0℃未満の無熱でも、風邪様症状がある方は、通常診療とは完全に分離することが必要と結論致しました。以上のことから、

令和3年9月6日月曜日より、以下の症状に該当する方は、すべて「発熱感染外来」での診療に変更いたしますのでご注意ください。 当院の発熱感染外来は、普段から当院に定期通院をされている、かかりつけの方（直近1年に2回以上受診かつ会計歴のある患者さん）を最優先と致しますので、予めご了承ください。また発熱感染外来の診察日ごとに受け入れ上限人数があり、それを超過すると受理が出来ないことをご了承ください。

■37.0℃以上の熱がある、又は2~3日あった方

■咳・喀痰・鼻汁・咽頭痛・頭痛いずれかを主訴とする方

■呼吸困難・喘鳴・息切れ・嗅覚/味覚異常のある方

引き続き新型コロナウイルス感染症の収束・終息がうかがえるまでは、この体制で行ってまいります。「新しい生活様式」がさらに強制的に一段進んだものとお考えください。

また、諸症状でおつらい状況ではありますが、受診される患者さんの人数によっては、後続する説明の通り、受診から会計までに、1~2時間を要しうることがありますことを予めご了承のうえで、受診するか否かを予め十二分にご検討下さい。病状の強度によっては当院を経ることなく、地域基幹病院の救急外来受診も選択肢に入れてご検討ください。

当院周辺の地域医療を守るため、特に、当院を平素よりご愛顧いただいている、かかりつけ患者さんにおかれましては、今後とも出来る範囲であらゆる手段を講じてまいります。何卒宜しくご高配下さいますようお願い申し上げます。

【変更開始時期】

令和3年9月6日 月曜日～

【電話受付時間等】

当院かかりつけの方（直近1年に2回以上の受診かつ会計歴のある方）は、月曜日、水曜日、木曜日の午前9時～午後12時に限ります。

当院かかりつけでない方（上記受診・会計歴に該当しない方）は、月曜日、水曜日、木曜日の午前11時～午後12時に限ります。

火曜日、土曜日、休診日は発熱感染外来を設置しませんので受付も行いません。 ご注意ください。また、1日の受診人数に上限があり、また、検査キット等が流通等の関係で欠品している場合など、受付時間内であっても、受付を終了していることがあります。あしからずご了承ください。

【対象となる患者さん】

- ① 原則的に当院に定期的に通院している患者さんで、
- ② 日本語によるやりとりが出来る方(通訳の付添いでも可)のうち
- ③ 自分が使用できる携帯電話をお持ちで、
- ④ 現金での支払も可能で（状況によりカード決済等が不可能な場合があります）、かつ、以下のいずれかの症状の方

- ① 受付日を含め、この2～3日に、37度以上の発熱のある（あった）方
- ② 受付日までに咳・喀痰・鼻汁・咽頭痛・頭痛のある（あった）方
- ③ 受付日時点で呼吸困難・喘鳴・息切れのある方
- ④ 受付日を含め、その日に至るまでに味覚・嗅覚異常のある方

【発熱感染外来の受診の流れ】

1.当院診察券をご準備の上、電話受付時間内（月・水・木の午前9時～12時、もしくは午前11時～12時）に、当院電話番号 045-823-8008 におかけ下さい。

上記①～④のいずれかの症状があることをお伝えください。いずれでもない場合は発熱外来に該当しません。なお喘息発作は発熱感染外来では治療不可ですので、あらかじめご了承ください。

当院の発熱感染外来においては、原則的に、

- ・全例、新型コロナウイルス抗原検査（鼻腔に綿棒を挿入します）を、
- ・冬季の一定以上の流行期においては、インフルエンザ抗原検査（鼻腔にもう1本綿棒を挿入します）を行うことがあります。

・さらに新型コロナウイルス抗原検査が「陰性」の方に限り、唾液採取による新型コロナウイルス核酸同定検査(PCR 検査等)を追加することがあります。

ただし、流通の停止等による検査キット不足等で、上記のいずれかが不可能、もしくは発熱感染外来自体を受理できない場合がございます。



2.受付職員から、数個のご質問を行いますので、予めご準備の上、ご回答下さい。

※当院の診察券番号（当院が全く初めての方は不要）

※携帯電話の所持の有無，および携帯電話番号

※待ち時間が1～2時間と長い可能性の同意

※来院方法（徒歩，自家用車等）

※現金での支払が可能か

※新型コロナウイルスのワクチンを受けているか



3.受診する上で特段の問題が無ければ，来院時間(16時半～17時以降)を指定致します。保険証・診察券のほか，当院付近に到着後は携帯電話での連絡となりますので，上記で指定された携帯電話を必ずお持ち下さい。



4.指定の時刻に当院付近に着きましたら，指定の携帯電話に当院より連絡致します。当院の発熱感染外来入口への入り方を説明致します。

①次のページ掲載の写真を参考にして頂き，発熱感染外来入口の呼鈴を押すよう，当院より指示致します（呼鈴は，指定が無いときは電源が入っておらず鳴りません）

②事務員は接触しないようにするため，対面による直接の対応は致しません。中から自動解錠致しますので，ご自身で開扉して中にお入り頂き，入って左手の細く長い廊下を奥まで進んで頂きます。狭い通路ですのでゆっくり進んでください。

③奥まで進むと専用の待合が1席ありますので，診察室から呼び入れがあるまで，そちらでお待ちください。



5.準備が出来ましたら、診察室内より、個人用防護具（PPE）を装着した診療所長が呼び入れ致します。診察券および保険証をお預かりします。**問診等は簡単に済ませ、抗原検査を先行して行います（問診・診察は結果が出た後になります）。**片方の鼻腔奥まで綿棒を挿入し、**鼻腔粘膜の粘液を採取します。**

6.順番待ちの番号札をお渡しします。結果が出るまでしばしお待ち頂きます。**この結果待ちに1時間程度の待ち時間が発生します。**

原則的に院外で、もしくは自家用車で来られた方は自家用車内で、お待ち頂くこととなります。結果が出ましたら指定の携帯電話にご連絡し、以後の対応をご説明致します。

院内でも待つための場所を設けてはありますが、他の発熱感染疑い患者さんと同一の場所でお待ち頂くこととなります。プライバシーを気にする方や、感染症に対して神経質な方は、院外で待たれることをおすすめ致します。

7.上記以降の手順については、当日の指示に従って下さい。